調査目的

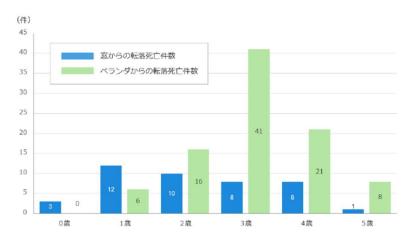
住宅の窓及びベランダからの子どもの転落事故については、行政機関等から危険性及びその対策の周知啓発が継続的にされているにもかかわらず、死亡事故が発生し続けていることから、事故等原因を究明し、生命身体被害の発生・拡大防止を図るため調査を開始



肖費者庁ホームペー

事故情報

<u>6歳未満の転落死亡事故134件</u>(1993~2024年の32年分)を調査。 転落箇所別では、窓が42件、ベランダが92件。 <u>窓から</u>の転落は1歳の 事故が最も多く(42件中12件。次いで2歳が10件)、<u>ベランダから</u>の転落 事故は3歳の事故が最も多かった(92件中41件。次いで4歳が21件)。



区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	āt
窓からの転落死亡件数	3	12	10	8	8	1	42
ベランダからの転落死亡件数	0	6	16	41	21	8	92

事故原因

転落死亡事故134件の発生状況を、子どもの身体能力並びに窓及びベランダの設計・整備基準の各種数値を参照しつつ、窓とベランダに分けて検証。その結果は右図のとおり。

本件事故の原因は、子どもは窓及びベランダから転落する危険性が高いにもかかわらず、ソフトとハードの両面において子どもの窓及びベランダからの転落を防止するのに十分な住環境整備がされていないことと考えられる。





再発防止策

ガイドライン^(※)に基づく仕様等となっていた場合、本報告書で検証した事故の全件を防止できた可能性があり、<u>ガイドラインに基づく仕様等が転落事故防止に効果</u>があることを確認できた。

そのため、ガイドラインに基づく住宅を普及することが必要と考える。普及に当たっては、 住宅関連事業者(マンション関係団体、設計関係団体、住宅生産関係団体等)への ガイドラインの普及、多くの住宅種別(新築・既存、持ち家・賃貸等)に対応する支援等の 施策が講じられることが望ましい。

> ※ガイドライン・・・『子育てに配慮した住宅と居住環境に関するガイドライン (改訂版)』(国土技術政策総合研究所)

国土交通大臣への意見

子どもが窓及びベランダから転落する危険への対策をした住宅を普及させるため、住宅を供給する事業者等に対して、ガイドラインの普及、子どもが窓及びベランダから転落する危険への対策をした住宅の新築・改修に対する支援等の施策を講ずること。

「子どもの転落事故」防止のためのチェックリスト

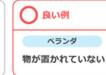
今すぐ点検! 危ない箇所はありませんか?



ベランダのチェックポイント

☑ ベランダに物が置かれている。

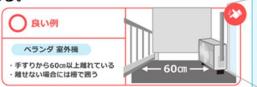






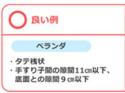
🔽 室外機がベランダ手すり壁の近くにある。

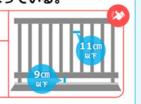




☑ 手すりの仕様がよじ登りやすい/すり抜けやすいものになっている。







?

どのように転落してしまうの?

消費者安全調査委員会

子どもが転落に至るプロセスを 動画で公開しています。



動画(1)

政府広報オンライン

子どもが転落しそうになる 状況を動画で公開しています。

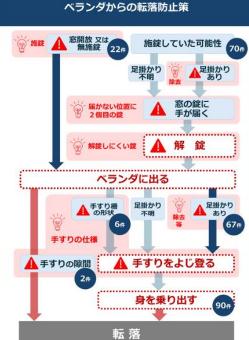




どうすれば防ぐことができるの?

消費者安全調査委員会が子どもの転落事故(134件)を調査した結果、次のことが分かりました。





どのような補助や製品があるの?

●###●

補助制度

安全に配慮した共同住宅への支援

共同住宅(賃貸住宅、分譲マンション)の新築・ 改修時に、住宅内での事故防止などの安全対策を 目的とした補助制度があります!

国や自治体の改修補助制度

子育て世帯が安心して暮らせる住宅にするため に、国や自治体の補助制度の活用を検討してみ ましょう!

子育て支援型共同住宅推進事業

製品

転落防止に役立つ製品

キッズデザイン協議会のウェブサイトで 転落防止に役立つ製品が紹介されています。 「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」 にチェックを入れ、キーワードに「転落」と 入力して検索してみましょう!

キッズデザイン賞検索サイト

